

あらためて、大学における「ボランティアセンター」の 価値、役割を考える

日程:9月8日(木)・9日(金) 会場:同志社大学今出川キャンパス(京都市)

今回で10回目を迎える全国フォーラムは、今年4月に新たに「ボランティア支援室」を開設した同志社大学今出川キャンパス(京都市)を会場に開催いたします。

近年、サービスマーケティング等、社会貢献活動を伴う教育プログラムを行う大学や、その推進を担うサービスマーケティングセンター、地域連携センター等を設置する大学も増えています。また、文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(COC事業、COC+事業)等、地方創生、地域再生を目的に、自治体等と連携し、地域を志向した教育・研究に取り組む大学も増えています。

こうした状況の中、大学のボランティアセンターはどのようなことが期待され、何にこだわって運営していくべきなのでしょう。21年前の阪神・淡路大震災を契機として、150を超える大学でボランティアセンターが設立された今、あらためて、ボランティアセンターの価値、役割を見つめ、今後のあり方を考える機会としたいと思います。

対 象 大学ボランティアセンター、サービスマーケティングセンター、地域連携センターなど学生・大学の社会貢献活動を推進する部署、プログラムの運営、実践に関わる教職員、これらの開設を検討している教職員/大学ボランティアセンター等と連携している学外のボランティア活動支援組織(中間支援組織)

定 員 50名

参加費 14,000円 (1日のみ参加の場合は7,000円。情報交換会は、別途会費4,000円必要。)

主 催 特定非営利活動法人ユースビジョン、同志社大学ボランティア支援室

内 容 9月8日(木)

10:30 オプション企画「大学ボランティアセンター基礎セミナー」

(新規設立校ならびに今後の開設を検討している大学関係者が対象)

13:00 受付開始

13:30 フォーラム開会

13:30 開会挨拶

14:00 全体会

「あらためて、大学における『ボランティアセンター』の価値、役割を考える」

16:00 会場校(同志社大学)活動紹介・施設見学

17:00 情報交換会会場へ移動 (参加の方のみ)

17:30 情報交換会(オプション企画：希望者のみ)

19:30 1日目終了

9月9日(金)

09:30 分科会 ①ボランティアビギナーへのきっかけづくり/ ②地域と学生との協働 /
③学生スタッフの育成・支援

12:30 昼食休憩

13:30 分科会報告(共有)

14:00 自由研究発表

16:00 閉会挨拶・アンケート記入

16:30 フォーラム終了

1 日目

全体会

「あらためて、大学における『ボランティアセンター』の価値、役割を考える」

グローバル人材の育成や、地方創生施策への関与など、近年、大学は様々な社会的要請への対応を迫られおり、大学による社会貢献活動や地域連携の取り組みが進んでいます。こうしたなか、大学ボランティアセンターにはどのような役割が期待されているのでしょうか。あるいは、どのような価値を示していくべきなのでしょう。全体会では、大学を取り巻く大きな社会の動きを俯瞰しつつ、大学ボランティアセンターのこれからについて考えます。

パネリスト：

筒井のり子

(龍谷大学ボランティア・NPO活動センター 副センター長/教授)



1983年、関西学院大学大学院修士課程修了。大阪ボランティア協会に勤務し、市民活動団体の事務局を7年間担う。その後、いくつかの大学を経て、1999年より龍谷大学に勤務。また、日本ボランティアコーディネーター協会設立の準備段階から参画し、2004~2007年度、2012~2015年年度まで代表理事を務める。著書に「ボランティアコーディネーション力～市民の社会参加を支えるチカラ」(中央法規出版、共著)等。

パネリスト：

高見大介

(日本文理大学人間力育成センター副センター長/助教)



1980年兵庫県丹波市生。2005年、日本文理大を卒業、入職。2010年より人間力育成センターに勤務。2016年より助教。現在、COC事業を担当し、「わかもの大分学」や「大分チャレンジアワード」などの社会貢献を企画する等、学生自らが主体的に地域にかかわる活動の仕組みづくりに携わる。日本ボランティア学習協会理事。専門は学生ボランティア論、サービスラーニング。

進行：

赤澤清孝

(ユースビジョン 代表/
大谷大学 准教授)



1974年兵庫県伊丹市生。

1995年の阪神・淡路大震災

をきっかけに翌年、学生有志できょうと学生ボランティアセンター(現・ユースビジョン)を設立。学生のボランティア活動支援や団体のマネジメント支援に取り組む。2013年より大谷大学教員も兼務。地域と連携した教育プログラムを企画、実施。日本ボランティアコーディネーター協会理事。著書に「学校ボランティアコーディネーション」(筒井書房、共著)等。

会場校活動紹介・施設見学

今年4月に開設した同志社大学ボランティア支援室。教員、職員、学生のスタッフが協力し、地域の団体へのボランティアコーディネーションの他、学内のボランティアサークル間のネットワークづくり、熊本地震災害に対する復興支援ボランティア活動など、活発な活動を展開しています。今回は、ボランティア室開設の経緯も含め、特徴的な活動を紹介する他、ボランティア支援室の見学も行います。

オプション企画

以下は、任意参加のプログラムです。

「大学ボランティアセンター基礎セミナー」

大学ボランティアセンターの設立を検討している大学、設立したばかりの大学、新任担当者を対象とした基本的な事柄を学ぶ講座です。

「情報交換会」(別途会費が必要です)

参加者間で、情報を交換し、交流をさらに深めましょう。今回は、同志社大学最上階にあります教会風のフレンチレストランにて行います。任意ですが、参加をおすすめします。

会場：french restaurant will

内容：立食ビュッフェ形式、フリードリンク

会費：4,000円(税込)

2日目

分科会

3つのテーマに分かれて分科会を行います。関心のあるテーマをいずれ選んで参加してください。申込みの際に、第1希望、第2希望を伺います。先着順で決定します。

① ボランティアビギナーへのきっかけづくり

ボランティア活動に興味のない学生に興味をもってもらうにはどうすればいいでしょう。また興味はあるけれど、まだ活動に参加したことはないという学生もたくさんいるはずです。こうした学生たちに対してボランティアセンターはどんな働きかけができるでしょうか。

この分科会では、学生へのボランティア活動の魅力の伝え方や、活動への参加を促す工夫などを考えます。

② 地域と学生との協働

地域から様々なボランティア活動依頼の中には、学生にマッチしないケースも多々あります。しかし、ボランティアセンターが、うまくコーディネートすることで、地域、学生の双方にとってよい成果、効果をもたらすことができます。

この分科会ではこうしたボランティアコーディネーションの考え方や、ボランティアプログラムのデザインの仕方を学び、これまでのボランティアコーディネーションのレベルアップや、既存の活動のブラッシュアップ、新規活動の企画などにつなげましょう。

③ 学生スタッフの育成・支援

学生ボランティア活動を支援するパートナーとして学生スタッフを組織している大学はたくさんありますが、学生たちにどこまで任せていいのかという位置づけや、育成の仕組みづくりに試行錯誤しているところも多いようです。

分科会では各大学の現状や課題を共有し、よりよい学生スタッフ組織のあり方について考えます。これから学生スタッフの組織づくりに取り組みたい大学の参加も歓迎します。

自由研究発表

大学ボランティアセンターの運営に関わる現場のスタッフの皆様から、実践報告や研究発表を公募し、参加者同士で深める機会です。日頃の実践の成果や問題意識をぜひ分かち合いましょう。発表者には、発表後、参加者から多くのフィードバックやアイデアなどが寄せられます。ぜひ、積極的に発表に参加ください。

- ・ 1テーマ50分で計2ターム×2テーマで4つのセッション実施を実施予定。
- ・ 各参加者が関心のある自由研究発表テーマのセッションを当日選んで参加します。

【発表時間・募集件数】

- ・ 自由研究発表は、1テーマあたり50分程度とし、発表20分、質疑30分とします。
- ・ テーマは4件程度募集します。(先着順)
- ・ フォーラムの参加者であることが条件です。自由研究発表のみの参加はできません。(ただし、2日目のみの参加の場合は可です。)

【申込方法】

発表を希望される方は、大学ボランティアセンター情報Web内の「自由研究発表申込フォーム」から以下の事項をご入力の上、送信ください。事務局から申込み受理の連絡を差し上げた時点で正式なお申込みとなります。

- (1)発表テーマ(正式な題名は、発表決定後に変更してもかまいません)
- (2)発表者のお名前(複数名で発表される方は、代表者のお名前、発表者全員のお名前)
- (3)ご所属、ご連絡先(複数名で発表される方は、代表者のみで可)

【自由研究発表 応募締切】

2016年9月2日(金) 先着順で受付

【その他】

発表は、WindowsPC、パワーポイントを使用できる環境をご用意しますが、自分のパソコンの持ち込みなど、その他の方法をご希望の場合には、事前に事務局までご相談ください。

フォーラム参加申込み方法

<申込方法>

インターネットで大学ボランティアセンター情報web(<http://daigaku-vc.info>)にアクセスし、「参加申込フォーム」のページに必要事項を入力の上、送信してください。事務局から申込み受理の連絡を差し上げた時点で正式なお申込みとなります。

<申込締切>

2016年9月2日(金) 先着順で受付

<宿泊について>

宿泊場所は各自で手配ください。会場へは京都市営地下鉄烏丸線沿線の駅周辺がスムーズです。

お問合せ先(事務局)

大学ボランティアセンター全国フォーラム

2016事務局(担当: 赤澤、芝原)

TEL075-254-8617 FAX 075-254-8627

[受付:火~金曜日 13:00~18:00]

メール: info@daigaku-vc.info

ウェブサイト: <http://daigaku-vc.info/>



同志社大学(今出川キャンパス)へのアクセス

フォーラム会場

9月8日(木)

「寒梅館」

9月9日(金)

「良心館」

 地下鉄出入口

 バス停留所

所在地

〒602-8580

京都市上京区今出川通り

烏丸東入

地下鉄烏丸線

「今出川」駅 徒歩1分

(1番出入口)

京都市バス

バス停「烏丸今出川」

徒歩1分

